

実習3：危険領域への侵入待ち タスクを効率的に制御

■ デバイスドライバの機能仕様

- `read()`呼び出し時、`read()`→`write()`間を実行中の他タスクが存在する場合は、そのタスクが`write()`処理を完了するまで休眠して待機

■ デバイスドライバの実装仕様

- `wait_event_interruptible()` / `wake_up_interruptible()`を使って、タスクの待機を実装

■ 動作確認

1. 1つのLEDを100ms間隔で点滅
2. 8つのプロセスを同時に起動して、それぞれ異なるLEDを100ms間隔で点滅（複数起動は、シェルの「&」でよい）
3. 前述動作確認を10ms, 1msの点滅間隔で10~20回実行